

令和6年度定住対策PT

今年度の取り組み

ありたいまちを言葉にする

目次

01 会議の意義

02 これまでの経過

03 課題提起

04 令和5年度の動き

05 令和6年度の動き

【目的】

定住人口の減少抑制につながる住環境対策について、これまで取り組んできた各施策の課題を整理し定住促進に向けた施策の見直しや新たな立案を行う。

【役割】

施策推進に必要な調査や研究を行い、対応策の協議や施策の立案を行い、定住促進政策の骨格づくりを行う。

02

これまでの経過

本会議の目的や役割に沿って議論を進め、他自治体の事例を参考に施策を行った。

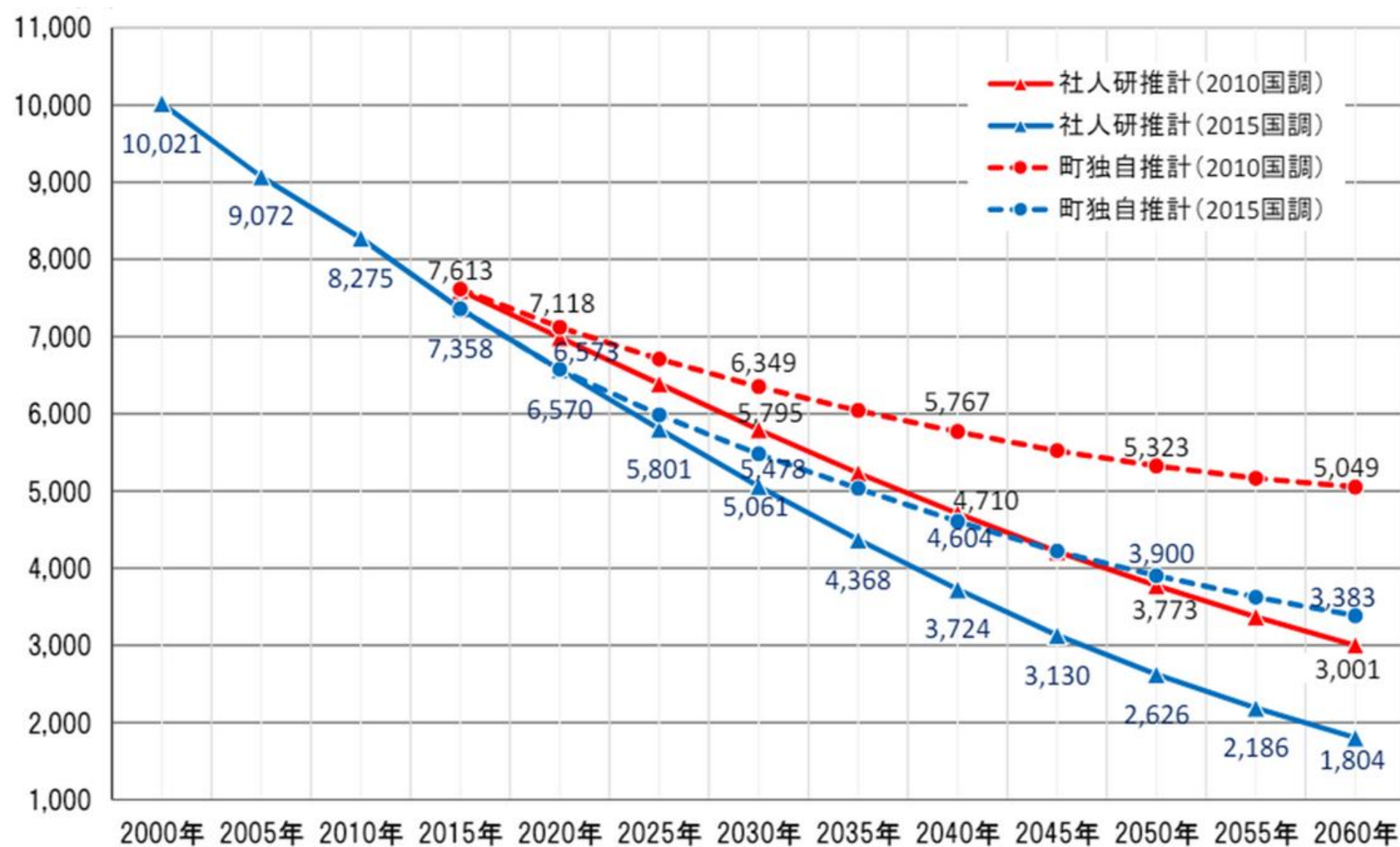
例) 新築住宅費用助成事業、個人住宅改修費用助成事業、移住定住促進支援事業 etc...

手段は講じたが効果はあったのか・・・？

03

課題提起①

平成26年度から開催している本会議だが人口減少は緩やかになっていない＝目的が達成されていない。



《なぜ達成できないのか》

◎そもそも軸がない

→目的、役割ははっきりとしているが、どうありたいか町へのビジョンが不透明のためとりあえず他自治体でやっていることをやれば何とかなるんじゃないか感が否めない、目的<手段となっている。

◎継続性がない

→前述したとおり、軸がないので施策において継続性がない。
本別町の色が見えない。

04 令和5年度の動き

前項の課題解決のため令和5年度ではビジョンマップの作成を行った。

【令和5年度会議の内容】

第1回

会議の内容、役割の確認、各部局が行っていることの確認、ビジョンマップの作成を決定

第2回～第4回

住み続けたいまちとはどんなまちかワークショップを開催、アイディアまとめ
総合戦略に掲げる4つの施策にカテゴライズ、まちづくりの根幹となるキーワードを作り上げる

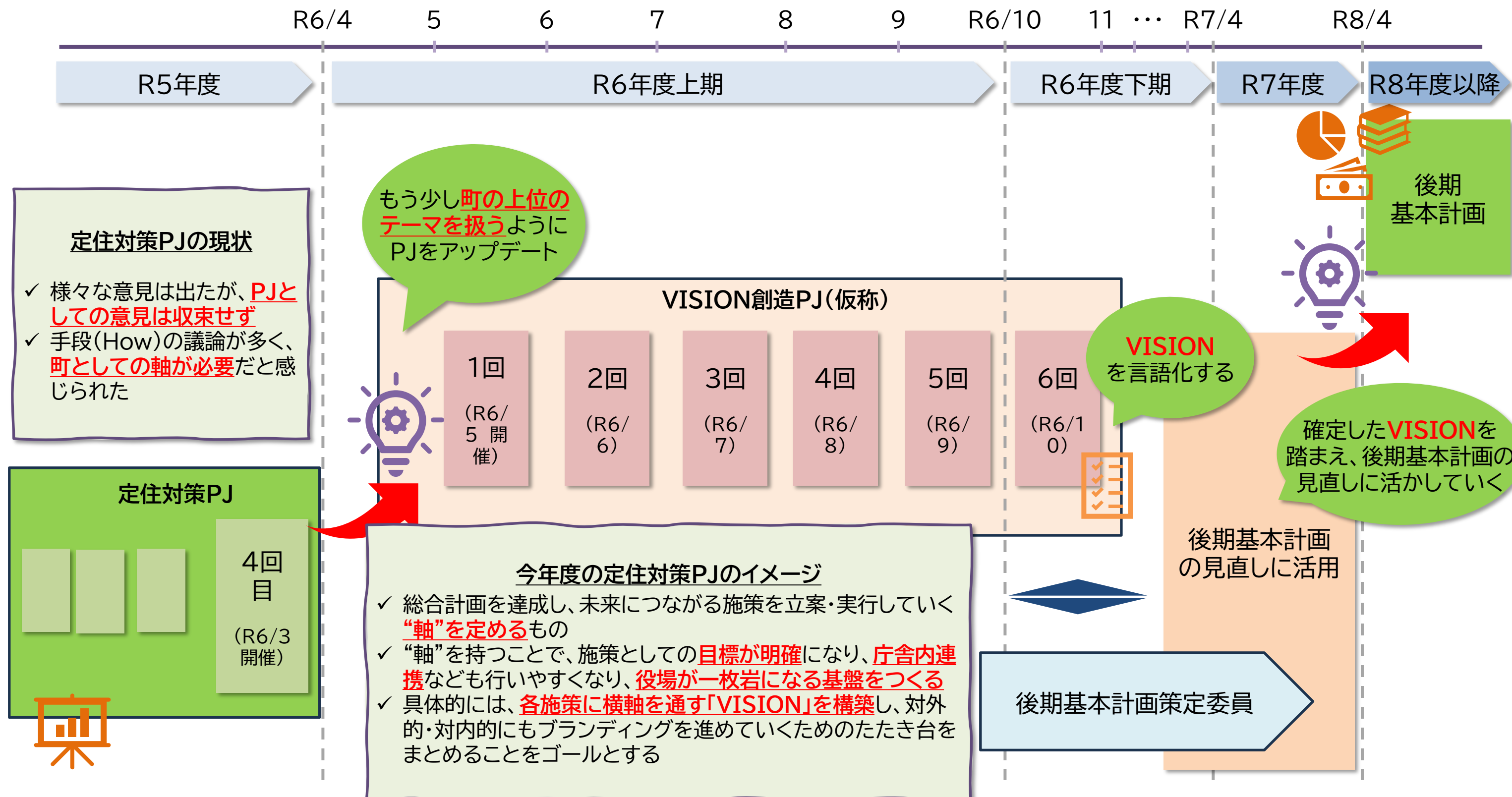
《結果》

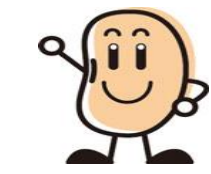
結果としてはまとまらず、メンバー間で「で、何を決めるんだっけ」とゴールを見失ってしまった



定住対策PJの議論と定めたVISIONを「後期基本計画」に結び付けていく

「定住対策PJ」で議論し、言語化したVISIONを後期基本計画策定の軸として明記し、今後具体的な「後期基本計画」の施策検討に活かしていく



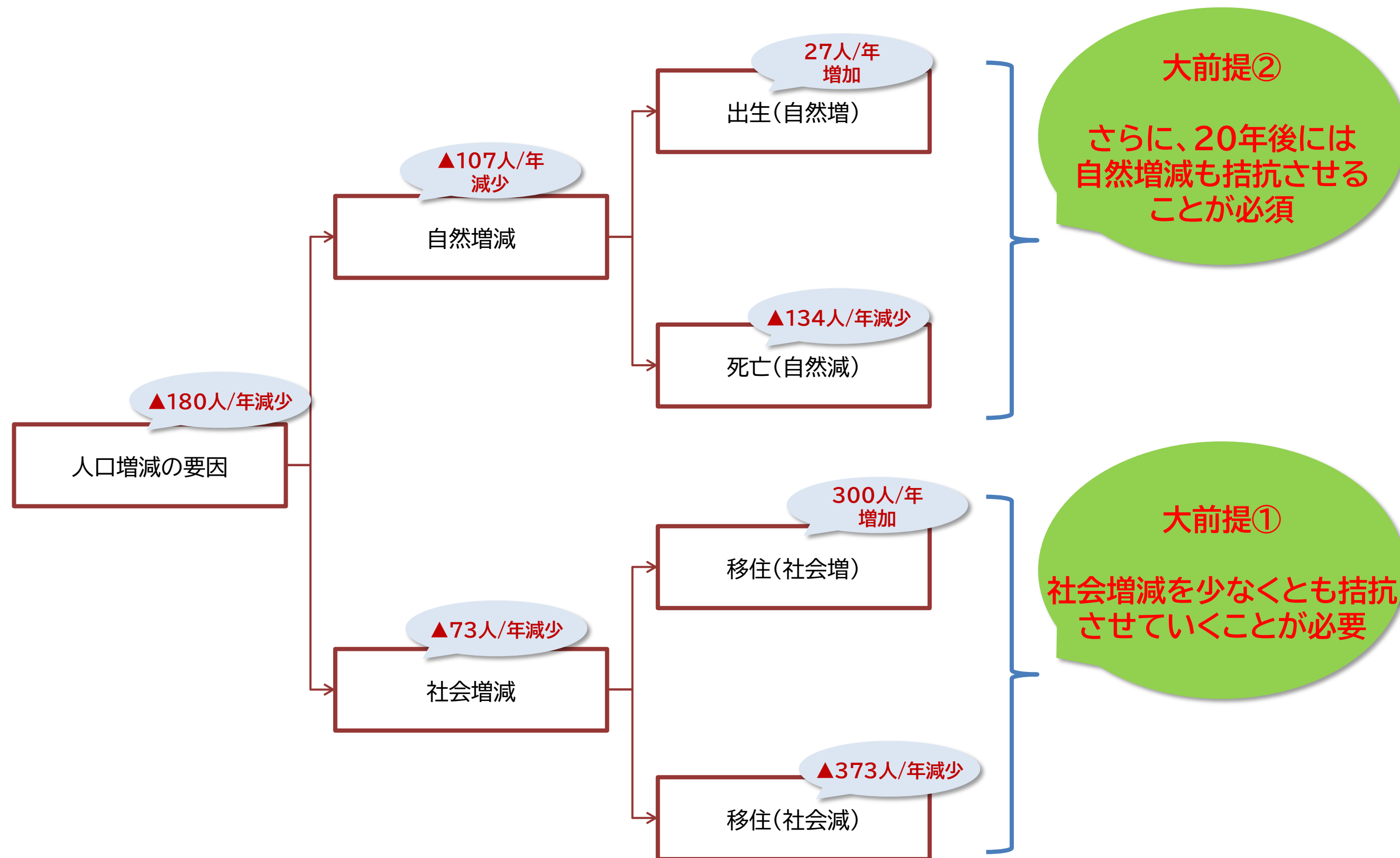


自分や家族の在りたい姿と現実を時間の推移とともに考える

		2005	2025	2035	2045	2055
自分	理想	10歳		40歳 テニスしているかな 仕事と家庭の両立 旅行も行けていればいいな	50歳 テニスはギリギリできてる 仕事最終局面終わりを見据える	60歳 早めの退職 余生を楽しむステージへ
	現実	同上	30歳 まだテニスをしていた テニス環境のある本別で良かった 物価高で家を建てるのは断念 旅行好きになっていた	テニスはできてそう 年齢構成など職場の不安はある 旅行は行く	ケガによりテニスは程ほどに 不安定な職場に危機感 旅行は行く	なんだかんだ働いている ただ、町の存続、人口減少に嘆く
配偶者	理想	10歳		40歳 もしかしたら家庭に専念かも 働いている可能性もある	50歳 家庭に専念 新たな趣味を見つけ充実	60歳 二人とも退職し 退職金で世界旅行へ
	現実	同上	30歳 仕事と趣味両立 旅行好きになっていた	働いているだろうが 同じく年齢構成の不安は残る 旅行は行く	金銭面の不安から仕事を継続 役場では無いかも 旅行は行く	パートなどで働き継続 余暇は増え趣味に使う時間は増
両親	理想	35歳		65歳 余生を楽しむため のんびりライフステージへ 趣味を堪能	75歳 趣味も趣向が変わり のんびり余生へ	85歳 自宅にて余生を楽しむ 孫と遊ぶのが楽しい
	現実	同	55歳 子どもが巣立ち 趣味に使う時間が増えた まだのんびりライフ程ではない	まだ働く必要があるが 趣味に使う時間は増えた	さすがに仕事は辞めて 余生を楽しむ時間へ	自宅にて余生を楽しむ 孫と遊ぶのが楽しい
子供	理想	なし		1人か2人はいるかもしれない 好きな習い事をさせてあげたい	好きな部活や学校を選択し 楽しい人生を	就職して楽しい人生を送る 地元へ就職できるか
	現実	同	なし	習い事を選択肢が減少 理想通りにはいかない	選択肢を増やすため 町外への学校へ進学	本別には就職枠・選択肢が 少なく、町外での就職か



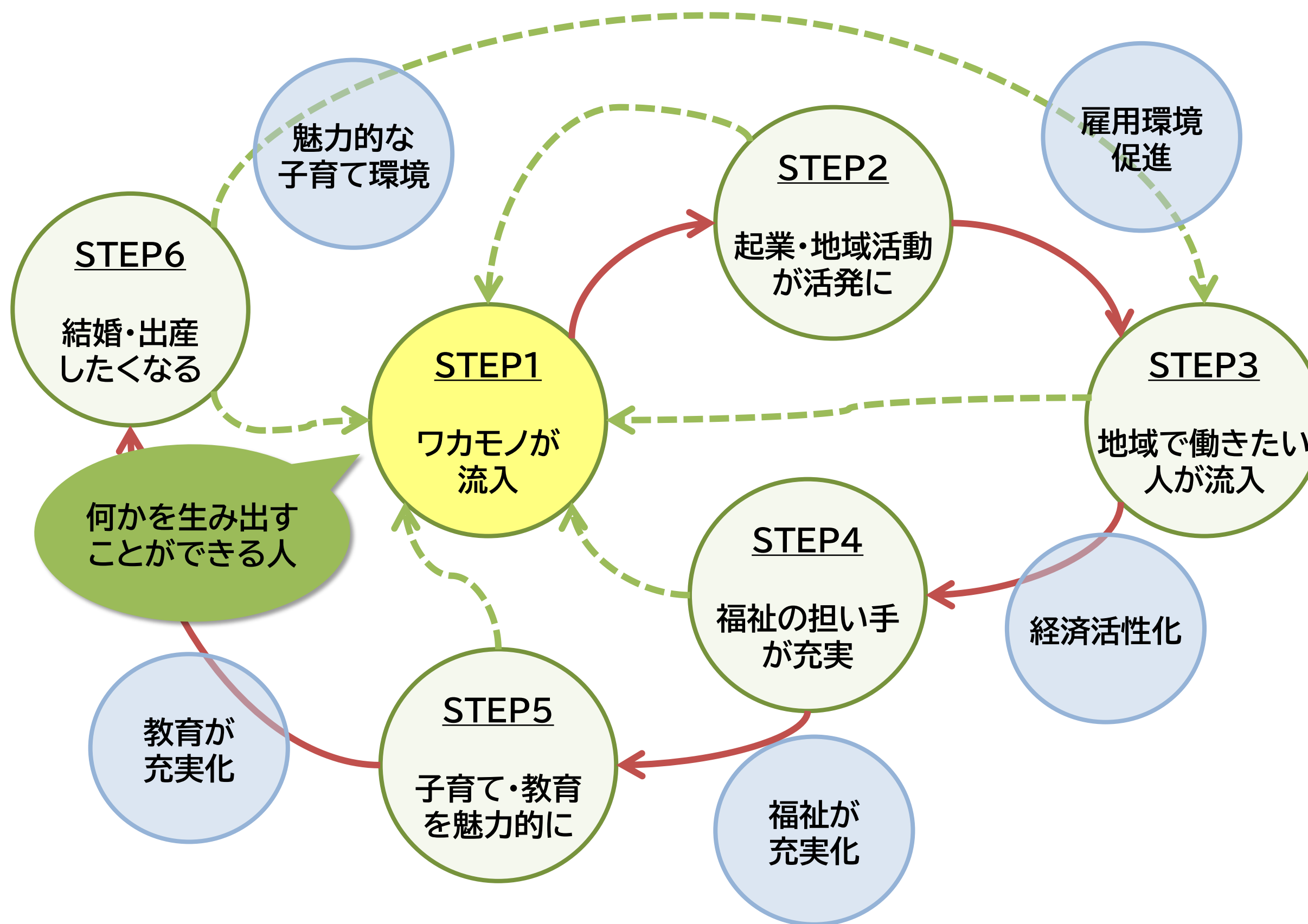
20年後の姿を実現するための大前提





本別町の活性化「正のループ」

各施策などはつながっており、はじめの起点は「ワカモノが流入」するような町づくり



ペルソナ設定

起業するために移住してほしい人

就職するために移住してほしい人

都会で仕事をしており、年齢は30歳前後で自分で物事を動かしたいタイプ。
祖父母は北海道に在住しており、趣味はアウトドア。180cm以上の短髪広告代理店勤務でイベント運営やSNS発信など本別町にはない仕事

○ワークライフバランスを好む20歳前後で十勝出身、大学などは札幌在住。大学卒業後は十勝に戻りたいと感じている。性格は真面目。
○なくしたくない仕事に就いてもらう、東屋や浮舟など事業承継

- ・この人たちの心に響くような本別の魅力って何だろう？
- ・この人たちにが来てもらえるような施策って何だろう？

ペルソナに対して効果的な魅力・資源

起業

- ・起業家支援制度がある
- ・おためし住宅がある
- ・空き家・空き店舗
- ・年中イベントがある

- ・情報発信 (届いてない)
- ・住みたくなる住宅
(おためし住宅をもっとオシャレに、)
- ・「田舎暮らし」もやりたい人にササるもの
- ・チャレンジ制度 (失敗してOK)

- ・クリエイティブな仕事をしている人がいない
(競合相手がいらない)
- ・年中イベントがある

- ・GHI (温浴施設) の整備
- ・伴走プログラム
(夢を形にするまでの相談に乗ってくれる人)

就職

資源

- ・町民同士のつながり
 - ・近くに家族・友達がいる
 - ・なつかしい (戻りたくなる)
 - ・就業できる事業者がまだある
 - ・火田
 - ・不便な状況が少ない
- 同世代も
農た

- ・就職できる会社 (まったり出す)
- ・協力体制の整備
- ・必要な情報の発信 (手段)
- ・車なくても生活できる環境

魅力

- ・やめそうな事業者が多い → いっつも継げる?
- ・アクセスしやすい (高速道路)
- ・体力増進センター (トランポリン)
- ・川遊びできる川が近い
- ・空港にアクセスしやすい
- ・生活コストが安い
- ・札幌から、そんなにハードル高くない

- ・ワークライフバランス
- ・事業継承できる事業者を把握している
- ・娯楽施設

ペルソナに対して効果的な魅力・資源

おがる: 成長する

就職

起業

1人3票

・夢が叶うまち

・やりたいことが叶うまち

・やってみよう

・縁と円

◎ チャレンジ
(〜がチャレンジできるまち)

・何でもできるまち

・全力応援

・スタートライン

就 終
しゅう活のまち

ほとよいまち

あるものはあるまち
あるふとあるまち

・長生き・長寿のまち
(ながくすみづける)

ちょうどよいまち

マメなまち

みんなでのこそう
ふるさと ほんバツ

〜したがるまち

・戻りたくなるまち
〜思い出してふたときを〜

・帰りたいくなるまち

・継承していくまち

・おかえり

・やっぱり

とあえす

・割と近い本別
(心・物理)

・ちょとよい距離感

・未来にのこすまち

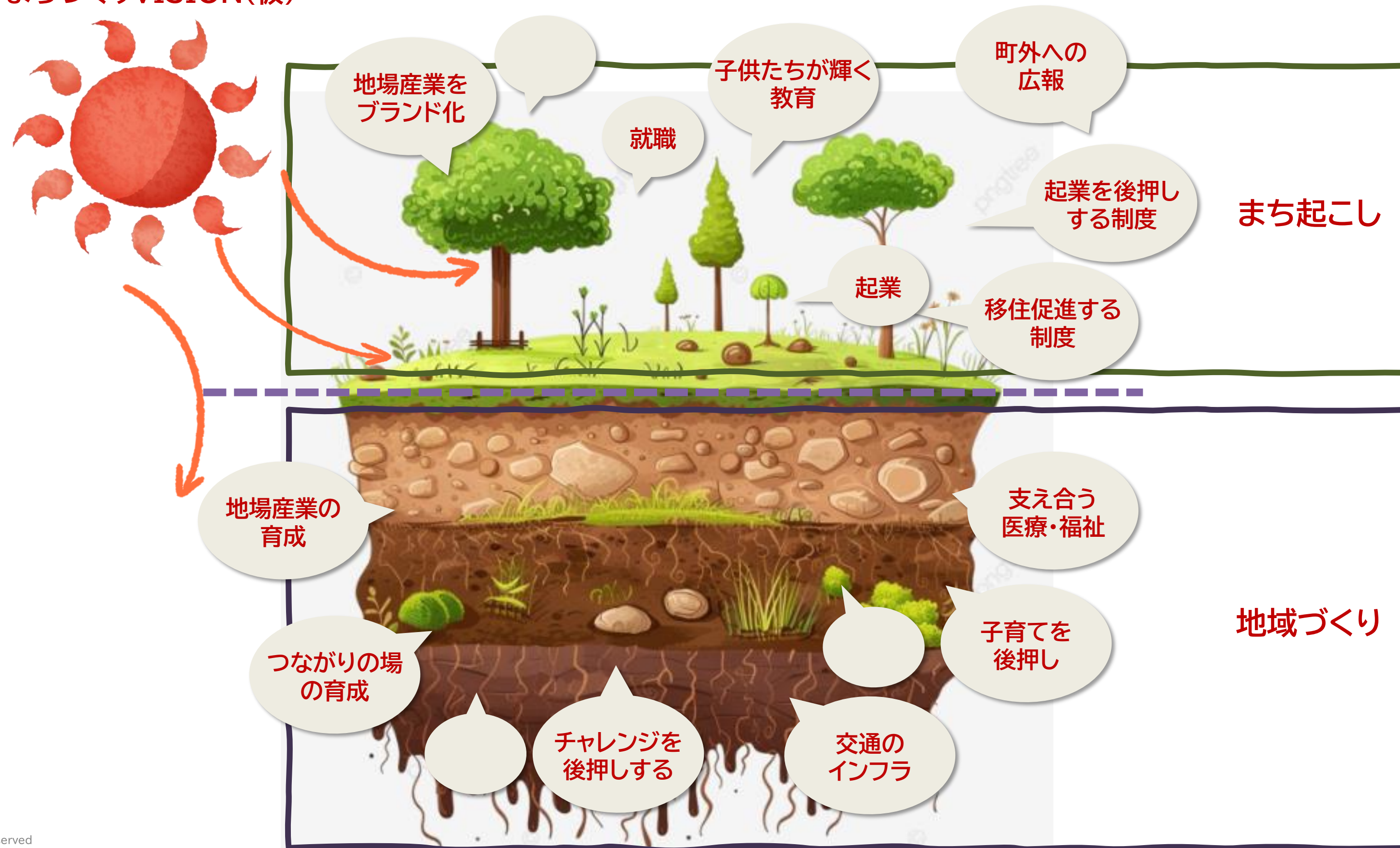
・れんげのベッドタウン



本別町の“まちづくり”とまちづくりVISION(仮)イメージ

まちづくりには、「まち起こし」と「地域づくり」の2大要素に分かれ、それぞれを照らすような役割として“まちづくりVISION(仮)”が関連する

まちづくりVISION(仮)



05

ありたいまちを言葉にする

まちづくりビジョン（太陽）：なかなかほんべつ

地域づくりビジョン：継承していくまち

まちおこしビジョン：やってみたいが叶うまち



総合計画・総合戦略と「まちづくりVISION」の位置づけ

「まちづくりVISION(仮)」は、総合計画を実現する総合戦略に軸を通すような位置づけとなる

